



TITLE:

観測帳

AUTHOR(S):

中村, 要

CITATION:

中村, 要. 観測帳. 天界 1932, 12(131): 116-116

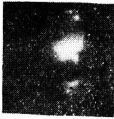
ISSUE DATE:

1932-02-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161882>

RIGHT:



観 測 帳

花 山 天 文 臺
中 村 要



1930 SB 此の未登録小遊星は1930年9月30日西國バルセロナでコマス、ゾラ氏によつて発見され、10月18.0日にはシメイス天文臺のニュージミン氏により、18.6日には花山で自分が(花山2號)、22日には東京の及川氏(東京22號)が獨立して、発見し11月になつてトリノ天文臺でも発見され、都合五天文臺で獨立觀測されたといふ12等の小遊星であつたが割合に觀測期間が短く軌道が確定するに至らなかつた。9月30日、10月22日、11月14日の位置から Febrer及び Ribot 氏が軌道を計算し R. I. 520 に今年の推算を發表した。衝は3月23日、光度は14.1等と計算されて居る。觀測出來れば正式に登録されるのも遠くはあるまい。

(139) Juewa 此の小遊星は3月2日10時52.7分、 $+15^{\circ} 10'$ の點で衝になる、日々運動は -1.0 分 $-1'$ である。光度は9.8等で推算近くに見つかる筈。

1931c Ryves 彗星 1月上旬に F3鏡でとつた2枚の原板に現れて居る。甚だぼんやりしたもので14等以下と思はれる。Yerkes 天文臺の Van Biesbroeck 氏は昨11月の下旬以後24吋鏡でも撮影出來なかつたさうであるが、これはどうした事か。F3鏡で1時間もかければ2月になつても撮影出來る筈。

1931 XB 1931年度には12等級の新小遊星は極めて稀にしか見つからなかつたが、12月3日アルジェーで Boyer 氏が、同じ星を同日殆んど同時にシメイス天文臺で Neujmin 氏が発見した。これは既知の(293) Brasilia の東一度弱の所にあつたので光度は12.6等であつた。

1931 R H. 昨年9月14日にハイデルベルヒ天文臺の Reinmuth 氏が発見した14等の新小遊星は Kahrstedt 氏の軌道計算の結

果で未登録の1929 CXと同一星である事が知れた。

Ernestar の購入 花山天文臺の山本博士は昨年11月末に口径5センチ f2.0のエルノスターカメラを購入された。エルノスターは天文觀測に進出した高速レンズでも最も有名なもので f1.8の速度を有して居る。常分柴田君の25センチ赤道儀に取付けられる。主な目的は流星の寫眞であるが早速自分が獅子群のもの1個、柴田君が双子座群を1個撮影に成功した。

觀測至急私報發行 彗星、小遊星其他に關する推算其他の觀測至急私報を發行します。希望者は二錢切手を貼つて宛名を書いた封筒若干と一通三錢(切手)の割で通信費を入れて小生まで御送り下さい。

光學研磨室より 平面が No. 300になつたので記念に自用の16センチ鏡の豫備平面を作つた。徑65ミリの面を磨いたが美事な面が得られた。誤差は20分の1波長は出まい。神戸の改發氏の13.5センチ、ベツアル玉の硝子が着いたので、2,3月はこれの研磨に急がしい。

賣却品 約4年前旅行用に作つてスマトラ島に日蝕觀測に使つてから收ひ込んであつた自分の54ミリ屈折鏡を22センチ寫眞玉の製作費の一部を得る爲に賣却したい。地上用三脚臺で微動運動はすつかりつき接眼レンズ4個天頂用ダイアゴナル其他フアインダーまでついて居る。對物レンズは自作のものであり光學品は一つづみのレンズまで精選して集めてあり筒は英國オットエ1會社からわざわざ購入したもので全體に念入りに作つてある。塗直し手入れの上讓りたい。價格は115圓。詳細は小生まで。